

科目名	特別講義 1						年度	2026	
英語科目名	Special Lecture 1						学期	前期	
学科・学年	放送芸術科 1年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	番組制作担当者 (外部)	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		

**【科目の目的】**

現在も現役で活躍されている方をお招きし、生の声を聴くことで将来の自分自身を想像し、今後の学校生活でどのように過ごしていくかを考える。  
作品鑑賞から繁樹を受け、感性を磨くことが目的である。

**【科目の概要】**

映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。  
(開講期間未定、内容に関して開講時に決定)

**【到達目標】**

番組制作現場を知ることで将来の自分を見つめ直し、就職活動に生かすことを目標とする。

**【授業の注意点】**

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。  
理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	講師の話しをメモを取りながら聞くことができ、将来の自分自身を想像することができる。		講師の話しに対しメモを取らないが、講義に耳を傾け将来の自分自身を想像することができる。		講師の話しに対しメモも取らず、講義も真剣に聞いていない。
到達目標 B	今後の学校生活でどのように過ごしていくかを真剣に考えることができる。		今後の学校生活でどのように過ごしていくかをぼんやりと考える。		今後の学校生活でどのように過ごしていくかを全く考えていない。
到達目標 C	作品鑑賞を通して刺激を受け、優れた感想レポートを提出している		作品鑑賞を通して刺激を受けたが、平凡な感想レポートを提出している		作品鑑賞に興味を示さず、感想レポートも未提出である
到達目標 D					
到達目標 E					

**【教科書】**

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		特別講義 1			年度	2026
英語表記		Special Lecture 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	特別講義 映画鑑賞	感性を磨く	1 特別講義	人生設計、社会人の心構えの考察	3	
			2 映画鑑賞	一流に触れて、感性を磨く		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等